

ライフサイクル制度、業務外注化、ダイ改合理化、基地統廃合、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

# 千葉支社 団体交渉 「確かに40頁は多い」と回答

## 千葉運輸区長は運転士を侮辱する「見極め」を直ちに中止しろ！

千葉運輸区では、エルダー運転士として再雇用される乗務員に対して「見極め」と称して、A4用紙20枚、40頁に及ぶ「知悉度」なるものが行われています。

しかもこれは、千葉運輸区だけで行われています。40年にわたり本線を乗務してきた運転士への侮辱行為そのものです。

動労千葉は11月20日、こうした侮辱行為の中止を求めて千葉支社との団体交渉を行い、現場からの怒りの声を叩きつけました。

### 負担にならないよう区長に伝える

- 組合 なぜ千葉運輸区だけ「見極め」なるものを行っているのか。理由と根拠は。
- 会社 現場長の判断で行っている。思い起こしということで行っている。
- 組合 40年間安全を守って乗務してきた運転士に40頁に及ぶ「見極め」が必要なのか。
- 会社 確かに**40頁は多いと思う**。事故を起こしたくないという思いから行っている。
- 組合 運転士に負担をかけることが問題だ。侮辱であり、パワーハラスメントだ。
- 会社 負担をかけているとは考えていない。
- 組合 「見極め」がどれだけ負担になるか考えたことがあるのか。直ちに中止すべきだ。
- 会社 **負担にならないように現場長に伝える。**

### 「見極め」で乗務させない考えない

- 組合 エルダー運転士になるための条件は、本人の希望と会社の判断だけだ。「見極め」など条件に入っていない。
- 会社 必要な訓練という位置づけだ。
- 組合 もしも「見極め」ができなかったらどうするのか。乗務させないのか？
- 会社 **そのようなことは考えていない。できるだけように指導する。**

### 他区でやらせる考えはない

- 組合 区長は、「今後は全区で同じことを行う」と言っている。支社として同じことをやらせるのか。
- 会社 千葉運輸区と同じことをやらせるつもり**はないし、現場長が他区の現場長を指導する**ようなことはない。

現場からの怒りに千葉支社も「負担にならないように伝える」「同じことをやらせるつもりはない」と回答せざるを得ませんでした。会社が労働組合解体攻撃に乗り出す中だからこそ、職場の「侮辱行為」に反撃することは大きな意味があります。動労千葉とともに、職場に闘う組合をとり戻そう。